

製品名: AF-4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06659**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	130kDa

抗原情報

遺伝子名	AFF1
別名	AFF1; AF4; FEL; MLLT2; PBM1; AF4/FMR2 family member 1; ALL1-fused gene from chromosome 4 protein; Protein AF-4; Protein FEL; Proto-oncogene AF4
遺伝子 ID	4299.0
SwissProt ID	P51825
免疫原	抗血清はヒト AF4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

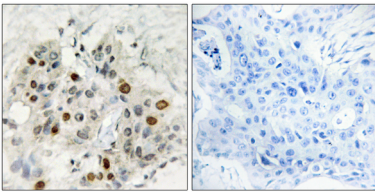
この遺伝子は、小児リンパ芽球性白血病、脆弱 X 線 E 部位の精神遅滞、および運動失調に關与するタンパク質ファミリーである

AF4/リンパ核タンパク質 (AF4/脆弱X線E部位精神遅滞症候群関連) のメンバーをコードしています。これは、自然発症急性リンパ芽球性白血病に関連する、よく見られる混合系統白血病融合遺伝子です。このファミリーのメンバーは、N末端相同ドメイン、AF4/脆弱X線E部位の精神遅滞症候群関連AF4/リンパ核タンパク質ドメイン、およびC末端相同ドメインという3つの保存されたドメインを有しています。このタンパク質は、伸長およびクロマチンリモデリング機能を介して、RNAポリメラーゼIIを介した転写の調節因子として機能します。RNA干渉スクリーニングにより、この遺伝子は白血病細胞の生存に必要な細胞膜糖タンパク質であるCD133の発現を促進することが示されています。選択的スプライシングは疾患を引き起こす：AFF1に関連する染色体異常は急性白血病と関連している。MLL/HRXとの転座t(4;11)(q21;q23)。その結果、異常な活性化タンパク質が生じる。類似性：AF4ファミリーに属する。、

研究分野

-

画像データ



AF4抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。